

October 14, 2020

**【前日の為替概況】ポンド全面安、通商交渉決裂懸念とマイナス金利警戒、対ドル 1.2922ドル**

13日のニューヨーク外国為替市場でポンドは全面安の展開だった。ジョンソン英首相が設定した欧州連合（EU）との自由貿易協定（FTA）締結交渉の妥結期限である15日が迫る中、交渉決裂の可能性が意識されてポンド売りが優勢になった。バルニエ EU 離脱首席交渉官はこの日、「最終的な詰め作業に入れるほどの十分な進展はなかった」などと述べたほか、スラック英首相報道官は「英国は合意なき離脱の準備と意志がある」と述べ、そのような結果に対する「恐れはない」と明言。また、ドリアン外務相は「現時点では合意なき離脱の可能性が高い」などと発言した。ポンドドルは一時1.2922ドル、ユーロポンドは0.9085ポンド、ポンド円は136.38円までポンド安に振れた。ベイリー英中銀（BOE）総裁が「マイナス金利を考慮する必要がある」「金融政策について非常に積極的にならなければならない」と述べたこともポンド売りを誘った。

ユーロドルは続落。終値は1.1746ドルと前営業日NY終値（1.1813ドル）と比べて0.0067ドル程度のユーロ安水準。欧州時間に発表された10月独ZEW景況感指数が予想を大きく下回ったことが引き続き意識されて、ユーロ売りが継続した。新型コロナウイルスワクチン開発の先行き不透明感などを背景に米国株相場が下落したこともリスク・オフのドル買いを促し、1.1731ドルと日通し安値を付けた。

ドル円は3営業日ぶりに反発。終値は105.48円と前営業日NY終値（105.33円）と比べて15銭程度のドル高水準。米経済対策法案を巡る米与野党協議やブレグジット交渉の先行き懸念などリスク要因が目立つ中、リスク・オフのドル買いが先行し、105.63円と日通し高値を付けた。ただ、同時にリスク・オフの円買いも入ったため上値は限定的となり、105.45円付近まで下押しする場面があった。

ユーロ円は続落。終値は123.89円と前営業日NY終値（124.40円）と比べて51銭程度のユーロ安水準。ダウ平均が一時230ドル超下落したことでリスク・オフの円買いが強まり、123.81円まで軟調推移。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、NY株安・債券高（金利低下）で伸び悩む展開か**

本日の東京外国為替市場のドル円は、ニューヨーク株高・米10年債利回り低下を受けたリスクオフ地合いで伸び悩む展開が予想される。

ドル円のテクニカルポイントである一目均衡表・転換線（過去9日間の高値・安値の中心値）105.53円を軸に、下値の一目・基準線105.15円と上値の一目均衡表・雲の下限106.08円を意識した展開が予想される。

ドル円のオーダー状況は、上値には、105.70-80円、106.00円にかけて断続的にドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、105.00-20円に断続的にドル買いオーダー、105.20円には本日のNYカットオプション、105.00円には15・16日のNYカットオプションが控えており、底堅いイメージとなっている。

新型コロナ景気対策法案に関しては、共和党（1.5兆ドルから1.8兆ドルへ増額）と民主党（2.4兆ドルから2.2兆ドルへ減額）による協議が続いているものの、11月3日の米大統領選前に追加経済対策がまとまる可能性が低下しつつある。

また、12日から15日まで、トランプ大統領が最高裁判事に指名したシカゴ連邦高等裁判所で判事を務める保守派の女性判事エイミー・コニー・バレット氏に対する上院司法委員会での審議が行われるが、民主党は、大統領選の勝者が最高裁判事を指名することを米国民の大多数が望んでいる、と難色を示しており、26日週に承認されるか否か不透明となりつつある。

ペロシ米下院議長（民主党）は、トランプ米大統領がまだ承認されていない新型コロナウイルス治療薬を取り入れ、ステロイド剤も投与していることで、「アルタード・ステーツ」（日常的な意識状態以外の意識状態）なのではないかと疑念を呈しており、大統領の「罷免」について規定した憲法修正第25条について議論することを明らかにしており、今後の続報に要警戒となる。

明日15日は、ジョンソン英首相が設定した英国と欧州連合（EU）との通商協議の期限であり、15-16日には最後の審判となる欧州連合（EU）首脳会議が控えている。バルニエ EU 離脱首席交渉官は、「最終的な詰め作業に入れるほどの十分な進展はなかった」と述べ、スラック英首相報道官は「英国は合意なき離脱の準備と意志がある」と述べ、ドリアン外務相は「現時点では合意なき離脱の可能性が高い」などと発言しており、英国と欧州連合（EU）の通商交渉は合意に向けた歩み寄りは見られていない。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 13:30 ◇ 8 月鉱工業生産確報
- 13:30 ◇ 8 月設備稼働率

## &lt;海外&gt;

- 08:30 ◇ 10 月豪ウエストパック消費者信頼感指数
- 09:00 ◎ 7-9 月期シンガポール国内総生産 (GDP) 速報値 (予想: 前期比年率 35.3%)
- 09:00 ◎ シンガポール金融通貨庁 (MAS)、金融政策発表
- 09:00 ◎ デイリー米サンフランシスコ連銀総裁、講演
- 未定 ◎ 韓国中銀、政策金利発表 (予想: 0.50%で据え置き)
- 15:30 ◎ 9 月インド卸売物価指数 (WPI、予想: 前年比 0.78%)
- 17:00 ◎ ラガルド欧州中央銀行 (ECB) 総裁、講演
- 18:00 ◎ 8 月ユーロ圏鉱工業生産 (予想: 前月比 0.8%/前年比▲7.2%)
- 20:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数
- 20:00 ◇ 8 月南アフリカ小売売上高 (予想: 前年同月比▲6.8%)
- 20:00 ◎ メルシュ ECB 専務理事、講演
- 21:00 ◎ レーン ECB 専務理事兼チーフ・エコノミスト、講演
- 21:30 ◎ 9 月米卸売物価指数 (PPI、予想: 前月比 0.2%/前年比 0.2%)
  - ◎ 食品とエネルギーを除くコア指数 (予想: 前月比 0.2%/前年比 0.9%)
- 21:35 ◎ バーキン米リッチモンド連銀総裁、講演
- 22:00 ◎ クラリダ米連邦準備理事会 (FRB) 副議長、講演
- 22:00 ◎ ホールデン英中銀金融政策委員会 (MPC) 委員、講演
- 23:00 ◎ ビルロワ・フランス中銀総裁、講演
- 23:15 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演
- 23:30 ◎ クオールズ FRB 副議長、講演
- 15 日 04:00 ◎ カプラン米ダラス連銀総裁、講演
- 20 カ国・地域 (G20) 財務相・中央銀行総裁会議 (テレビ会議)

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

13日 15:57 ジョーダン・スイス国立銀行(スイス中銀、SNB) 総裁

「マイナス金利は必要」  
「金利が再び上昇するとは言えない」  
「ユーロ安は長年の問題。だが、ここ数カ月はドル安」  
「スイスは危機を比較的うまく乗り切っている」

13日 16:22 中国外務省報道官

「米国による台湾への武器売却に対して改めて反対表明」  
「米国に対して状況に応じて法的かつ必要な対応を行う」

13日 16:55 ロート独外務省国務大臣(欧州問題担当)

「我々はブレグジット協議で非常に重要な段階にいる」  
「我々は合意なきブレグジットの用意があるが、合意の用意もある」

13日 23:49

「欧州連合(EU)と英国の貿易交渉は実質的に進展しておらず、時間が不足している」  
「取引成立のために最善を尽くしたい」  
「EUは交渉不成立のためのコンティンジェンシープランも作らなければならない」

13日 19:48 独連銀金融安定化報告

「今後数四半期、厳しい経済環境による企業の債務不履行が急増する恐れ高い」  
「失業率上昇と個人破産増加が住宅ローンの債務不履行につながる」  
「企業倒産増加とオフィス需要変化は商業用不動産市場に悪影響」

13日 19:56 バルニエ欧州連合(EU)離脱首席交渉官

「15日のサミットを前にEUの結束が確認できた」  
「今後数日と数週間の間には公正な取引を行うよう努力を続ける」  
「いまだ十分な進展がない」

13日 20:10 クノット・オランダ中銀総裁

「新型コロナ第2波の経済ダメージは第1波よりも少ない可能性」  
「欧州の経済成長は遅い模様」  
「ECBが緊急支援策を延長する必要があるかどうかを判断するのは時期尚早」

13日 20:29 ラーブ英外相

「合意への余地と可能性はあり、協議でギャップを埋めることに期待」

13日 20:45 英当局者

「EUと合意するには時間が非常に短い」  
「EUは合意のためにペースと創造力を上げるべき」  
「EUは駆け引きを試みた」

13日 22:28 スラック英首相報道官

「英国は合意なき離脱の準備と意志がある」

13日 22:31 ペロシ米下院議長(米民主党)

「トランプ政権が提案した最新の景気対策案は大幅に修正されなければならない」  
「依然として合意に希望を持っている」

13日 22:43 麻生財務相

「(G7)新型コロナウイルスの対応で意見交換」  
「透明性にコミットメントしない中銀デジタル通貨に注意喚起」

13日 23:18 ベイリー英中銀(BOE)総裁

「英国の景気回復には時間がかかる」  
「英経済の第3四半期末までの成長は2019年末から約9-10%下回っている」  
「マイナス金利を考慮する必要がある」  
「金融政策について非常に積極的にならなければならない」

14日 01:17 マコーネル米上院院内総務(共和党)

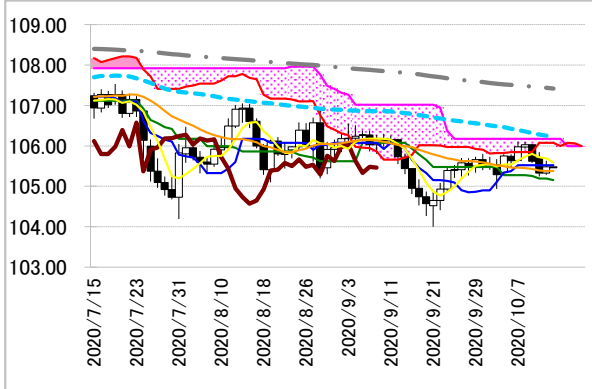
「選挙前にもう一度刺激策に挑む」  
「来週おおよそ5000億ドルのウイルス支援法案を提出するつもりだ」

14日 02:46 ドリアン仏外務相

「現時点では合意なき離脱の可能性が高い」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

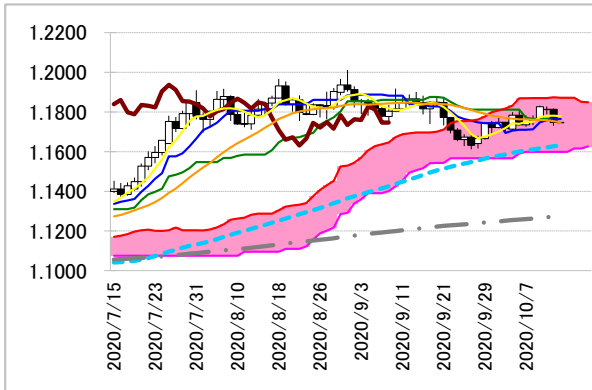


### <ドル円=雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。2手連続陰線の後、孕み線で反発したものの、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	106.08(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	105.48
サポート1	105.15(日足一目均衡表・基準線)
サポート2	104.94(10/2 安値)

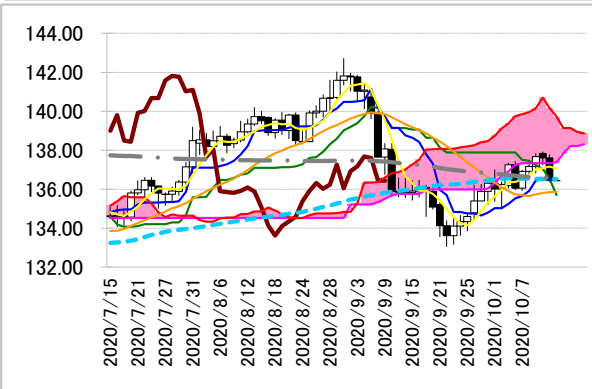


### <ユーロドル=雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。12日の寄り引同事線の後、抱き線で反落して転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1872(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1746
サポート1	1.1685(9/30 安値)

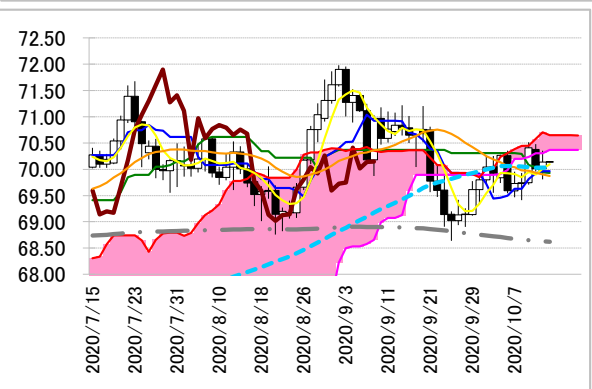


### <ポンド円=雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。2手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	137.37(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	136.45
サポート1	135.70(日足一目均衡表・基準線)



### <NZドル円=10/8 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかしながら、転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、10月8日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	70.65(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	70.14
サポート1	69.41(10/8 安値)

